

を中心とする若い世代の市外流出が続
き、出生数も減少しております。
若い世代が減少し、高齢化が進むこ
とで、農林水産業をはじめ、医療、介護、
公共交通、自治会活動、防災活動など、
地域社会を支えるさまざまな分野で担
い手不足が深刻になっていきます。
耕作放棄地、空き家、空き地が増え、
学校や医療機関など、市民生活を支え
てきた地域の基盤も縮小しています。
また、本市は、人口戦略会議が公表
した「消滅可能性自治体」に含まれ、
とりわけ若い女性の減少が大きな課題
となっています。

私は、この人口減少の背景に、若い
世代が、この地域で将来の人生設計を
描くことのできる所得と仕事が十分で
はないことがあると考えております。
長崎県が公表している市町民経済計
算においても、本市の一人当たり市民
所得は、県内13市の中で厳しい水準が
続いています。

地域経済が縮小する。働く場所が減
る。所得が伸びない。若者が市外へ流
出する。そして、さらに地域経済が縮
小する。この負の連鎖を、どこかで断
ち切らなければなりません。

子育て支援や生活支援は、もちろん
重要です。しかし、一時的な給付だけで
持続可能なまちをつくることはできま
せん。

相川武利市長の 所信表明

「稼げるまち」
「安心できるまち」
「ワクワクするまち」へ

9月1日の令和8年第2回南島原市議会定例会において、
相川市長が所信表明を行いました。
以下、所信表明の全文になります。
図総務秘書課(西有家庁舎) ☎73-6621



これからは、市民生活を支えながら、
地域の将来に効果を生み出す「投資」
という視点を、より強く持つ必要があ
ります。
産業、教育、医療、福祉、交通、防
災を別々に考えるのではなく、相互に
つなぎ、その効果を地域経済や所得の
向上につなげていく。
私は、その視点から南島原市を立て
直してまいります。

②市政運営の基本姿勢

そのための市政運営において、私は
三つの姿勢を大切にします。

①市民から信頼される市政。
②現場を重視し、すぐに動く市政。
③データと効果に基づく市政

行政が行う事業について、その目的、
必要性、費用、進捗状況、そして期待
される効果を、できるだけ分かりやす
く市民と議会に示してまいります。
特に、多額の公費を投入する事業に
ついては、企画、審査、決定、執行、評価
それぞれの段階を明確にします。
そして、問題が生じた場合には、ご
まかさず、事実を確認し、必要な対応
を速やかに取ります。

私は、この南島原市に生まれ、暮らし、
働くすべての市民が、将来に希望を持
ち、安心して生活できるまちをつく
りたいと考えております。
そして、子どもたちや孫たちの世代
が、南島原市で育つたことを誇りに思
い、将来もここに住みたい、あるいは
一度市外へ出ても、また戻ってきたい
と思えるまちにしたい。
そのために、市政の基本理念として、

「稼げるまち」
「安心できるまち」
「ワクワクするまち」

この三つを掲げます。

現状を変えることには、時として痛
みや不安が伴います。しかし、変化を
恐れ、課題を先送りするだけでは、南
島原市の未来を切り開くことはできま
せん。私は、次の姿勢を大切にしま
います。

対立ではなく対話を。
先送りではなく決断を。
思いつきではなく根拠を。

また、市民の困り事は、市役所の机
の上だけでは分かりません。私自身が
地域へ出向き、市民の声を聞く。職員
も現場を見る。そして、できることは
すぐに動く。そういう市役所に変えて
まいります。

さらに、AIや全国のデータも活用し
ながら、施策の効果を可能な限り数値
で把握し、経験や前例だけではなく、
エビデンスに基づく行政運営を進めます。
この三つの基本姿勢の下、六つの重
点政策を推進してまいります。

③六つの重点政策

第一の柱

「稼げる産業」をつくり、
市民の所得を増やします

人口減少対策の中心は、仕事と所得
です。
若者や子育て世代が南島原市で働き、
暮らし続けることのできる、魅力ある
仕事と所得をつくらなければなりません。
本市の基幹産業である農業、水産業、
製麺業、観光業、介護・福祉産業など
について「外から稼ぐ力」を高めます。
単に作る、獲るだけではなく、必要
加工する。ブランド化する。そして、

この姿勢を大切にし、市民、市議会、
行政が力を合わせ、次世代に誇れる「シ
ン・南島原市」への一歩を踏み出して
まいります。
この「シン」には、私なりの思いを
込めています。

みんなでつくる南島原の未来
シン・南島原市

進 心
希望に進む。 市民を思う心。

真 新
真実で正す。 新しい。

信
信頼できる。

この5つの「シン」を、市政運営の
姿勢としてまいります。

**①南島原市の
現状に対する認識**

まず、本市の現状について申し上げます。
南島原市の人口は、現在3万9千人
台となっております。2014年から
2026年までの12年間で、約1万人
減少いたしました。特に、20代、30代

より高く販売する。生産から販売まで
を一体的に支援し、付加価値を地域に
残す仕組みをつくりきます。

農地の集約化、経営規模の拡大、ス
マート農業、先進技術、国内外の認証
取得、産地直送、加工品開発、事業承継、
法人化などを積極的に支援します。ま
た、フードテック、陸上養殖、ロボット、
ドローン、自動運転、再生可能エネル
ギーなど、本市の資源や課題との親和
性が高い新しい産業の誘致にも、トッ
プセールズで取り組みます。

人手不足については、外国人材を含
めた人材確保を進めます。現在の制度
上の業種制限などについても、地域の
実情に合わせた柔軟な人材活用が可能
となるよう、必要に応じて国に規制緩
和を求めてまいります。

若者が地元で働く選択肢を増やす。
そして、市民の手取りと所得を増やす。
これを市政の最重要課題として取り組
みます。

第二の柱

どこに住んでも安心できる
医療・子育て・介護・防災を
実現します

市内のどこに住んでも、安心し
て暮らせるまちをつくりきます。
年齢、性別、障がいの有無、住んで
いる地域にかかわらず、必要なサービ